

熊本から世界へ ひとつながりフェアトレード 第8回フェアトレードタウン国際会議in熊本市

2014年3月28日(金)から30日(日)の3日間、熊本市国際交流会館で第8回フェアトレードタウン国際会議が開催されます。(主催:フェアトレードタウンジャパン(FTTJ)、フェアトレードシティくまもと推進委員会、共催:熊本市、尚、前日の27日に熊本独自プログラムとして国際学生フォーラム*が開催予定)フェアトレードタウンとは、官民協力してフェアトレード製品の推進を行っている都市として、認定機関から認められた都市のこと。フェアトレードタウンのうち、行政単位が熊本市のように市の場合は、フェアトレードシティと言われます。



2011年6月4日、熊本市が世界で1000番目、アジアで初めのフェアトレードタウンに認定され、その後世界のフェアトレードタウンは1350へ増え続けていますが、アジアのフェアトレードタウンは依然として熊本市のみという状況です。今回の会議には海外約20ヶ国を含む国内外から200名以上が参加予定で、アジアで初めてのフェアトレードタウン国際会議として、今後、国内、アジアでフェアトレード旋風が巻き起こることが大いに期待されます。本会議開催に向け、フェアトレードシティくまもと推進委員会代表(会議実行委員長)の明石祥子さんにお話しをお伺いしました。

フェアトレードタウン国際会議とは?

フェアトレードタウン、そして今後フェアトレードタウン認定を目指す都市の関係者が集い、公正な地域経済社会の構築のためのつながり、情報交換を行います。

熊本会議の見どころは?

4月から「おもてなし」「生産者見本市」「学生フォーラム」「シティツアー」「広報」の各ボランティア・チームに分かれ準備を進めてきた熊本の市民力で、豊かな緑、きれいな水、やさしい人、安全なまちを発信したいと思います。

今回の会議には、WFTO(世界フェアトレード機構)の会長 Rudi Dalai氏とFLO(フェアトレードラベル機構)の理事長 Molly-Harisson Olson氏の世界の2大フェアトレード組織のトップが顔を揃えることで大きな注目を集めています。さらに、これまで先進国の各都市からの参加であった当該会議に、ミャンマー、ラオス、バングラデシュ等アジアの生産者が出席、産品フェアを開催することは画期的なことで、アジアにフェアトレードを拡げていく機会にしたいと願っています。

市民の方々の参加は可能でしょうか?

可能です。但し、29日(土)、30日(日)の本会議プログラムへは事前登録が必要で、有料となります。(10,000円、昼食代含む - 早割7,000円/1月31日まで)

期待することは?

この機会に、熊本の皆さんにフェアトレードを知ってもらい、応援をしてもらいたい、そして、立場の弱い人たちを支え合うことができる誰もが自分らしく生きていける、希望が持てる社会=“真のフェアトレードタウン”を実現出来ればと思います。

*27日に開催される学生フォーラムの見どころは、大学としてフェアトレードを啓発していくフェアトレード大学という新しい取り組みについて話し合いがされる予定です。フェアトレード大学運動の進んでいる海外の学生が事例発表します。

今後、本国際会議に関する情報が本国際会議オフィシャルホームページで更新されます。

<http://www.fairtrade2014.org/>

イベント情報 【2014セント・パトリックス・デイ・パレード熊本】

セント・パトリックス・デイを祝うため、アイルランドのシンボルカラーである「緑」を身に付けたボランティアの団体及び個人によるパレードです。

日 程：2014年3月8日(土)

実施機関：セント・パトリックス・デイ・パレード熊本実行委員会

開催場所：コース 上通→下通→サンロード新市街(アーケード街)

集合場所：加茂川上通り中央店、大橋時計店前

参加費用：無料

主催団体名：熊本アイルランド協会(担当者名 笹原 元子)

電 話：096-366-5151

<http://www.kumamoto-ireland.org>

セント・パトリックス・デイ・パレード熊本 URL

<http://parade.kumamoto-ireland.org>